

## 「第2回徳山ダム環境保全対策委員会」の審議内容メモ

日 時：平成12年10月4日 12:30～14:30

場 所：名古屋通信会館 6階 菊の間

出席者：(委員)佐藤委員長、阿部委員、駒田委員、前田委員、松井委員、水野委員、  
中村委員、西條委員

(事務局)水資源開発公団、ダム水源地環境整備センター他

### 【審議内容等】

#### 1. 最近の事業経過について

最近の工事の実施状況と環境保全の取り組みについて報告した。

#### 2. 本年度の調査結果報告

水没予定地内に生息するコウモリ類のねぐらや移動路を調査し現状確認。新たに4種の重要な種を確認した。

オシドリの保全対策実施箇所を検討するため、現状の生息状況を調査した。

その多くが水没する湿性地の現状調査を行った。新たにブチサンショウウオ(重要な種)を確認した。

#### 3. 徳山ダム流域の概要

流域環境の将来像とその中での徳山ダム貯水池の位置づけについて、意見交換した。

#### 4. プロジェクトについて

##### 1) ワシタカプロジェクト報告

平成12年8月12日に開催した。

モニタリングにより、イヌワシ2つがい、クマタカ1つがいの繁殖成功の確認について報告された。

新たな調査方法として、CCDカメラ調査が提案された。

クマタカの営巣地等を取りまく自然環境を抽出する営巣環境解析の実施が提案された。

##### 2) モニタリングについて

現在毎月1回実施(連続5日間)している調査の間に、補助調査を実施する。

クマタカの営巣木にCCDカメラを設置し、クマタカの繁殖状況を監視する。

##### 3) 新たなプロジェクトの設置

新たに、陸域環境プロジェクト(コーディネーター：西條委員)

河川環境プロジェクト(コーディネーター：駒田委員)を発足した。

各プロジェクトは、現地調査、個別指導、外部専門家の参加も含め、機動的に開催するものとし、具体的なテーマを各プロジェクトで決定していくものとした。